【HE★VENS RADIO～Go to heaven～　第３回　ゲスト：帝ナギ】

瑛二　　みんな、こんにちは。　HE★VENS　RADIO～Go to heaven～、

今回も俺達HE★VENSのメンバーから、ゲストが来てくれてるんだ。

紹介するよ。ゲストは帝ナギ……（遮られ）

ナギ　　ちょーっと待ったー！！

瑛一　　どうした、ナギ。突然大きな声を出して。

ナギ　　せっかく宇宙一キュートなナギが来たっていうのに、そのフッツーすぎる紹介は何なの？　もっとテンション上がる感じに紹介してよね！

大体前回のヴァンはすごくカッコつけて始まってたでしょ？

瑛二　　ヴァンは勝手に始めちゃっただけなんだけど……。

ナギ　　も～！　ナギもナギらしく始めさせてもらうからっ！

瑛一　　うむ、そうだな。いいぞ、やってみろ、ナギ。

ナギ　　それじゃ、改めて……（やや声色変えて）みんなー！　HE★VENSのカワイイ担当、宇宙一ミラクルキュートなナギが来たよっ！

ナギが来たからには、今日のラジオは盛り上がること間違いなしっ！

最後まで聞かないと損しちゃうからね？　姿は見えなくても、

みんなに可愛いナギを届けるからエンジェルたちも覚悟しててね！

瑛二　　（ほほえましく）さすが、ナギだね

瑛一　　うむ、アイドルらしさと己の個性をきちんとアピールした、良い挨拶だな！

ナギ　　（嬉しそうに）でっしょ～？　当たり前！　ナギはいつでも完璧なんだから。

瑛一　　今回は珍しく緊張しているようだったから少し気になっていたが、

いつもどおり素晴らしい！　安心したぞ。

ナギ　　緊張？　なんのこと？

瑛一　　いつもは早く寝るのに、昨日は遅くまで起きていたようだったからな。

　　　　緊張で眠れないのかと思っていた。

ナギ　　（慌てて）眠れなかったわけじゃないし！

瑛二　　（事実を知っている）違うんだよ、兄さん。緊張してたんじゃなくて、

この番組に出るための準備をしてたんだもんね、ナギは。

瑛一　　何、そうなのか？

ナギ　　な、なんのこと～？

瑛二　　心配だから、早く寝るように、声をかけようと思ったんだけど……。

瑛二　　俺がドアを開けても気づかないくらい、すごく集中してこのラジオを

聴いてたんだ。

だから、邪魔したら悪いなと思ってそのまま部屋に戻ったんだけど。

あの後は、ちゃんと眠った？

ナギ　　えぇっ！　なにそれ、ナギ知らない！　いつの間に……。

瑛一　　なるほど、さすがナギ！　前もってきちんと予習をしていたわけだな。

イイ……イイぞ……人に見せないその努力、それこそHE★VENSの鑑……！

ナギ　　（照れつつ）べ、別に！　この間の放送がどんな感じだったか気になっただけ！　ていうか、リサーチするのは当たり前でしょ？　エンジェルには少しでも

楽しんでもらいたいし、いつでも最高のナギを見てほしいの！

瑛二　　うんうん、ナギのそういうところ、俺もすごくいいと思うよ。

ナギ　　（やり返そうと）そうやってニコニコしていられるのも今の内だからね～？

ナギがなんの準備もしないで来たと思う？

瑛二　　え？　準備って、ラジオを聞いてきただけじゃなくて？

ナギ　　それは基本中の基本でしょ！　せっかくだし～、リスナーとして

瑛二に挑戦してもらいたいことのおたよりを送っておきました～！

瑛一　　なるほど、メンバーからおたよりか。それも悪くないな。

瑛二　　ちなみに、俺に挑戦してもらいたいことって？

ナギ　　（瑛一のマネをして）瑛二、アツアツのおでんを食べてみてくれないか？

瑛二　　（天然ボケで）ああ、おでんは、あったまるし季節的にも良いかもね。

瑛一　　アツアツ、というリクエストならば、火の準備も必要だな。

瑛二　　スタジオに火を持ち込んでも大丈夫なのかな……？（途中で遮られる）

ナギ　　も～！瑛二、前回ヴァンとツッコミの練習してたでしょ！

こんなのボケに決まってるじゃん！

それに、ナギからおたよりが来てたらさっきの打ち合わせの時に

わかったでしょ！

瑛一　　それもそうだな。

ナギ　　瑛二のツッコミ力を試そうと思って、

わざわざナギがボケてあげたのに、２人で乗っかってどうするの。

瑛二　　そうだったんだ、ごめんごめん。でも、ヴァンも言ってたけど

HE★VENSにはナギのツッコミがあるからね。

瑛一　　ああ、そのおかげで、俺達の会話も締まるというものだ。

瑛二　　だから、今日は頼りにしてるよ、ナギ。よろしくね。

ナギ　　（嬉しそうに）まったく、仕方ないな～。瑛一も瑛二も、ナギがいないと

ダメなんだから。それじゃ、そろそろラジオ始めよっか！　いくよ、せーの、

一同　　HE★VENS　RADIO～Go to heaven～

ナギ　　エンジェル達、最後までキュートなナギの声を楽しんでってね！

／／END